

# 2月の消防広報重点事項

発行 令和2年1月10日  
盛岡市危機管理防災課  
編集 盛岡中央消防署

## 令和元年の火災・救急の状況について

### 1 火災の状況

令和元年中の盛岡市における火災件数は40件で、前年に比べ4件増加しています。

また、火災による死者数は3人で、前年に比べて1人減少しています。

火災原因は、「放火・放火の疑い」による火災が6件で最も多く、次いで「たばこ」、「こんろ」、「配線器具」となっています。

	令和元年	平成30年	比較増減
火災件数	40	36	+4
死者	3	4	-1
負傷者	6	12	-6

令和元年				平成30年			
火災原因		件数	割合(%)	火災原因		件数	割合(%)
第1位	放火・放火の疑い	6	15.0	第1位	放火・放火の疑い	6	16.7
第2位	たばこ	4	10.0	第2位	配線器具	4	11.1
第2位	こんろ	4	10.0	第3位	こんろ	3	8.3
第2位	配線器具	4	10.0	第3位	ストーブ	3	8.3

### 2 救急の状況

令和元年中の盛岡市における救急出動件数は11,909件で、前年に比べ233件増加しています。

また、救急搬送人員は11,160で、前年に比べ242人増加しています。

これは、市民の26.2人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

	令和元年	平成30年	比較増減
救急出動件数	11,909	11,676	+233
救急搬送人員	11,160	10,918	+242

### 3 過去の5年間の火災件数及び救急出動件数の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
火災件数	47	46	42	36	40
救急出動件数	10,308	10,661	10,851	11,676	11,909

## ● 消防団に入団しましょう！

消防団は、市町村の非常備の消防機関であり、その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

### ☆ 消防団員と消防職員の違いは？

消防団員は、他に本業を持っており、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場に駆けつけ、消火活動等を行います。消防団員の身分は、非常勤特別職の地方公務員です。一方、消防職員は、専任の職員として、消防本部や消防署に勤務しています。

### ☆ 消防団の活動について

#### ◎ 平常時の活動

##### 消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練（放水訓練等）を行っています。また、各地域で開催される防災訓練にて、自主防災組織等への訓練指導等を実施しています。

##### 救命講習会

万が一に備えて、救急車が到着するまでの応急手当方法や、AEDの使い方などを指導する講習会などを行っています。

##### 防火啓発活動

各家庭を訪問しての防火指導、幼稚園などでの防火教育等の啓発活動を行っています。

#### ◎ 災害時の活動

##### 消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆けつけます。消火活動、後方支援など、その場に応じた活動を行います。

##### 搜索・救助活動

大規模災害発生時等に地域をよく知る立場から、他機関と連携をとって、搜索・救助活動、避難誘導を行います。

##### 水防活動

台風などの風水害の際は、河川の水位の警戒、土のうづくり・土のう積みのほか、排水、浸水防止などに迅速に対応します。



#### 〈お問い合わせ先〉

盛岡市総務部危機管理防災課 消防対策室

盛岡市盛岡駅西通一丁目27番55号

Tel・Fax：019-626-7404 Mail：[shoubou@city.morioka.iwate.jp](mailto:shoubou@city.morioka.iwate.jp)

## ● 令和元年12月中の火災3件の内訳

- |        |        |  |
|--------|--------|--|
| 12月 8日 | 藪川字外山  | 小型乗用自家用車1台焼損                                       |
| 12月20日 | 東見前    | 事務所併用共同住宅1棟及び浴室棟1棟全焼<br>長屋式住宅1棟及び住家1棟部分焼<br>車両3台焼損 |
| 12月26日 | 本宮字上越場 | 住家1棟ぼや   |